



# LIXIL モダンアートV型/L型 先付けボルトセット 取付け説明書

- この説明書は必ず取付けされる方にお渡しく下さい。
- 「モダンアートV型/L型」本体を取付ける場合は、本体と同梱の取付け説明書を使用してください。

## ■取付けされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。



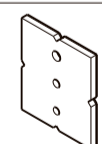





## ▲注意

- ひさし本体の外れ・落下のおそれがありますので、下記事項を遵守してください。
  - ・本製品は外壁仕上げ前に取付ける先付け製品です。外壁・内壁施工後は取付けしないでください。
  - ・当製品は木造躯体専用です。ALC・RCなどの躯体には取付けしないでください。
  - ・当製品は窯業・金属サイディング専用です。モルタル納まりには取付けしないでください。
  - ・窯業サイディングで金具止め通気工法などの胴縁を使用しない通気工法による外壁には取付けはしないでください。
  - ・積雪地域(積雪が50cmをこえる地域)には取付けしないでください。
  - ・屋根雪が直接落ちる場所には取付けしないでください。
  - ・取付け前に必ず、柱・胴差しなどの位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを確認してください。
  - ・外壁総厚さ(胴縁含む躯体から外壁表面までの厚さ)は25~50mmとしてください。  
ただし、金属サイディング又は窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)がある場合、外壁総厚さは33mm(サイディング厚さ15mm+胴縁厚さ18mm)としてください。
  - ・ひさし本体・ブラケットを取付ける下地材は十分な強度を有するように下記の断面寸法の下地材をご使用ください。  
下地材の断面寸法：在来工法の場合／100mm×100mm以上  
2×4工法の場合／76mm×140mm以上(ブラケット用下地)  
89mm×89mm(ひさし本体用下地、ひさし本体／ブラケット用下地間柱)
- ・先付けボルトは、下地材の割れを防止するため、下穴(φ6)をあけてから取付けてください。
- ・下地材へのねじ込み深さは75mm以上を確保してください。
- ・強度・防錆性を保つため、必ず指定のねじ・ボルト類を指定の数量使用してください。
- ・六角ナットM8用はゆるみがないように十分に締付けてください。
- 漏水のおそれがありますので、下記事項を遵守してください。
  - ・外壁のさね部(継ぎ目)に先付けボルト・貫通ボルトが配置されないように外壁を割付けしてください。
  - ・先付けボルト・貫通ボルトの取付け前に必ず防水シート・下地材シーラーを張付けてください。
  - ・シーリング(コーキング材)は、塗布個所を十分に清掃しプライマーを塗布してから、指定個所すべてに対し必ず行ってください。
- ひさし本体取付け部・ブラケット取付け部の外壁は胴縁で十分に補強してください。
- 木造1階の玄関ひさし以外への転用および改造は行わないでください。

## ■取付け上のおお願い

- ひさし本体のD、W寸法に応じて下地材を入れる位置が異なりますので、必ずひさし本体D、W寸法と、下地材取付け位置を確認してから取付けてください。下地材取付け位置が違いますと、ひさし本体、吊りアームの取付けができなくなります。
- 先付けボルト・貫通ボルト・窯業サイディング用金具の取付けは必ず外壁・内壁施工前に行ってください。施工後は取付けできなくなります。
- 下地材シーラーは精度よく張付けてください。張付け位置の精度が悪い場合は外壁仕上げ後にひさし本体の取付けができなくなるおそれがあります。
- 貫通ボルト・先付けボルト取付け穴は下地材と垂直にあけてください。穴が傾くと貫通ボルト・先付けボルトが傾き、ブラケット・ひさし本体の取付けができなくなるおそれがあります。
- 金属サイディング又は窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)がある場合、ひさし本体取付け部への胴縁の取付け・窯業サイディング用金具の取付けは不要です。

## ■取付け部品・部材一覧

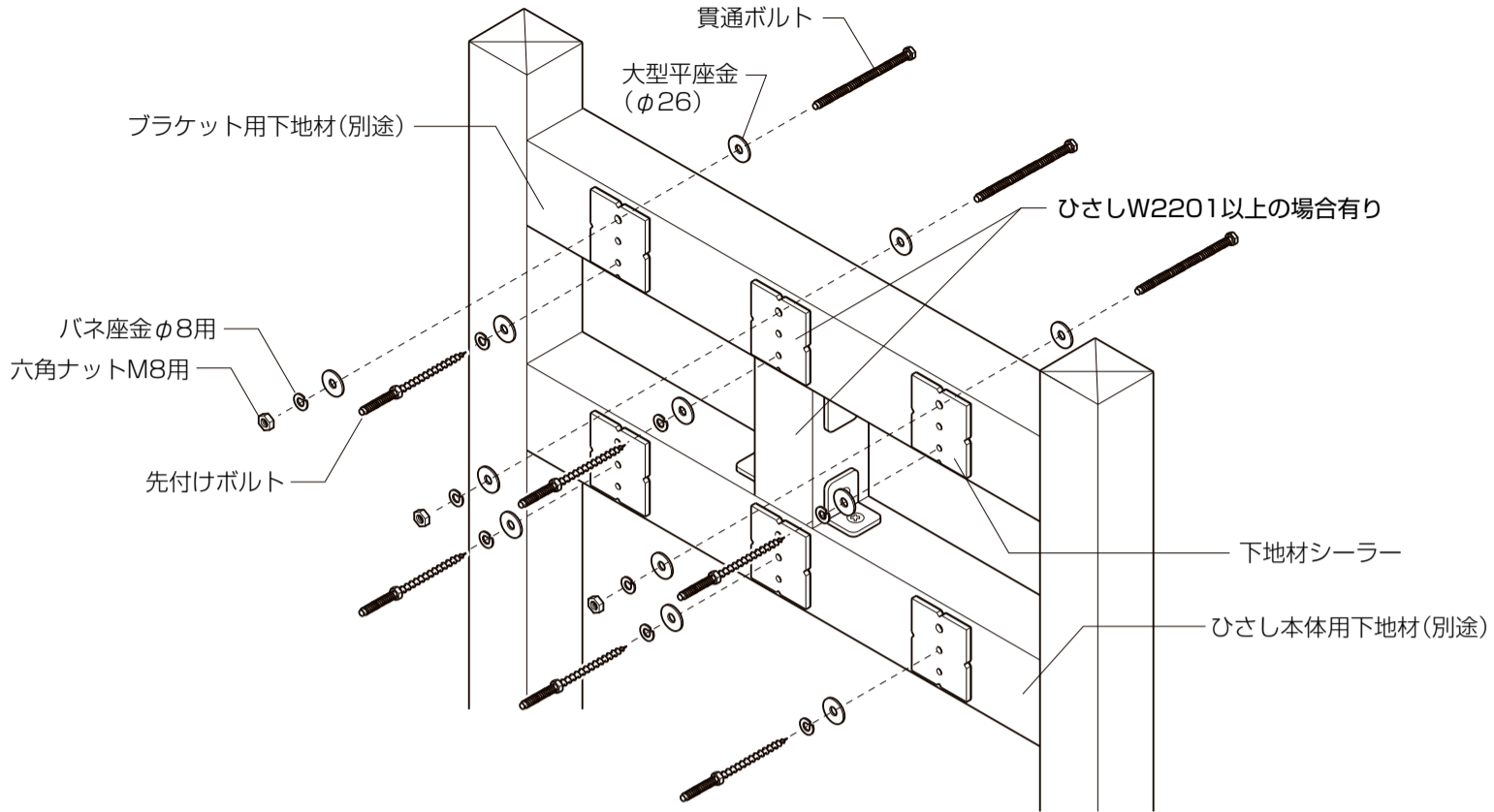
先付けボルト	貫通ボルト	下地材シーラー	窯業サイディング用金具
L=142、151、160  各4本(各6本)	M8×170  2本(3本)	 4枚(6枚)	 12個(18個)
金属サイディング用スペーサー L=32  6個(9個)	六角ナットM8用  8個(12個)	大型平座金(φ26) t=2.0  14個(21個)	バネ座金φ8用  6個(9個)

※( )内は、ひさしW2201以上のときの員数を示す。

## ■使用工具

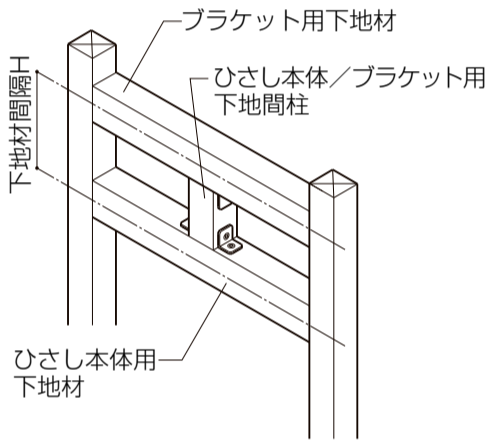
メガネレンチ(13番)、電動ドリル刃φ6.9、ホールソーφ18、25、30

■各部名称図

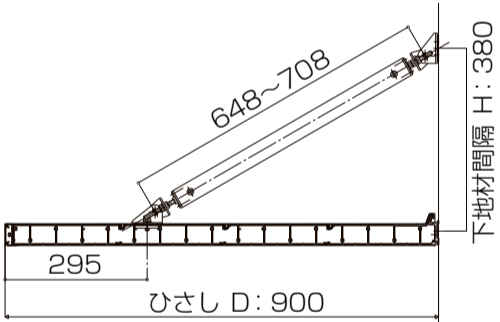


■取付け順序

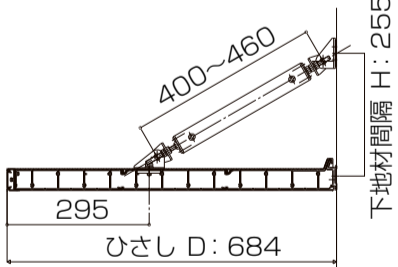
1 下地材の取付け



【ひさしD900の場合】



【ひさしD684の場合】



■取付け詳細

1 下地材の取付け

●下図のようにブラケット・ひさし本体取付け位置に下地材(別途)をひさしD、Wに応じて下記寸法で下地材を入れてつくってください。

ひさしD	下地材間隔H	ひさしW	ひさし本体/ ブラケット用下地間柱
900	380	600 ≤ W ≤ 2200	—
684	255	2200 < W ≤ 3000	○

※ひさし本体/ブラケット用下地間柱はひさし本体センターに入れてください。  
※下地材はひさしWの全長にわたるように取付けてください。

お願い

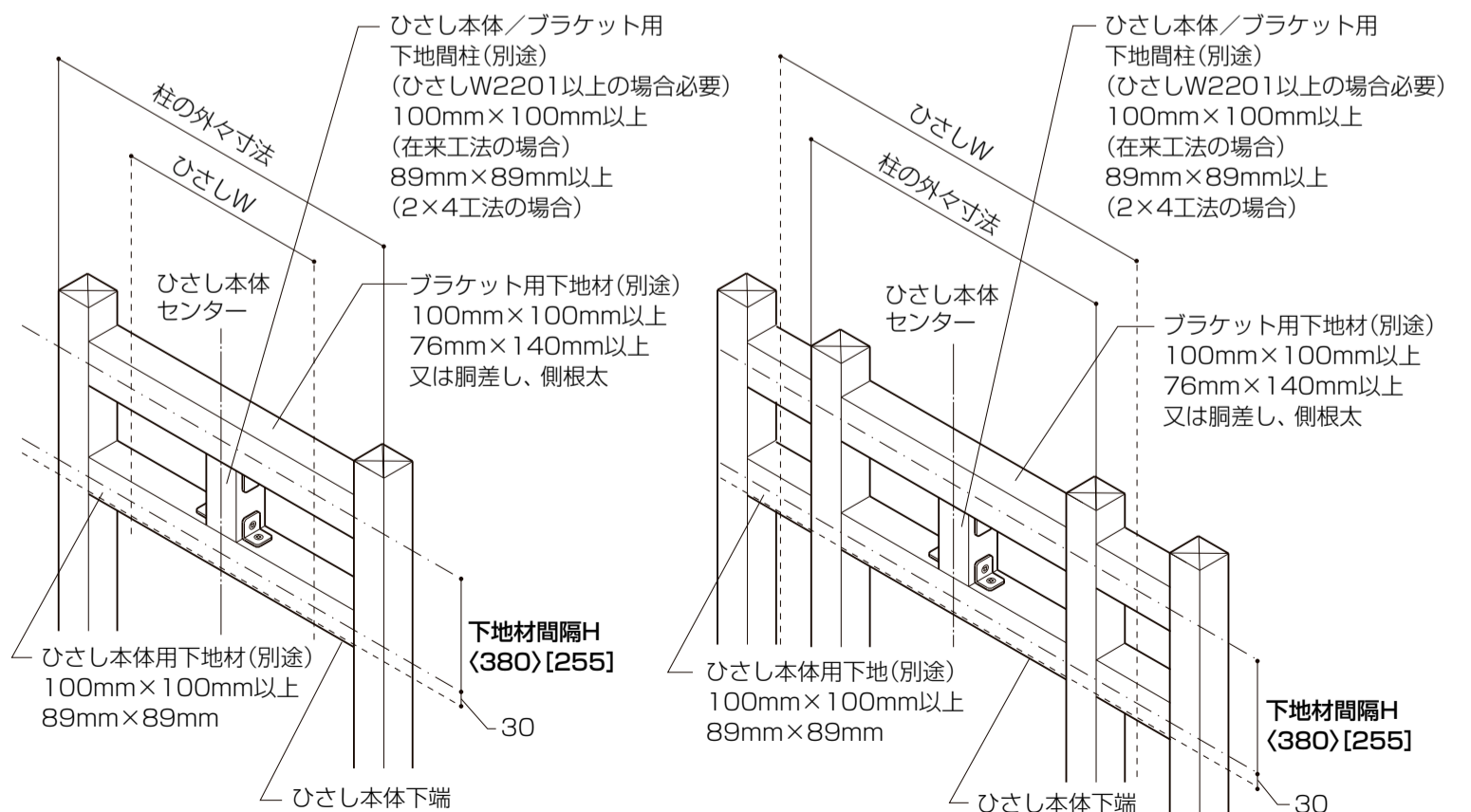
※ひさし本体のD、W寸法に応じて下地材を入れる位置が異なりますので、必ずひさし本体D、W寸法と、下地材取付け位置を確認してから取付けてください。下地材取付け位置が違いますと、ひさし本体、吊りアームの取付けができなくなります。

▲ 注意

●下地材は十分な強度を有するように下記断面寸法をご使用ください。ひさし本体の外れ・落下のおそれがあります。  
在来工法の場合：100mm×100mm以上  
2×4工法の場合：76mm×140mm以上(ブラケット用下地材)  
89mm×89mm以上(ひさし本体用下地材、ひさし本体/ブラケット用下地間柱)

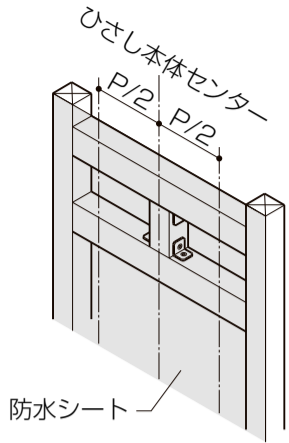
■柱の外々寸法がひさしWより大きい場合

■柱の外々寸法がひさしWより小さい場合

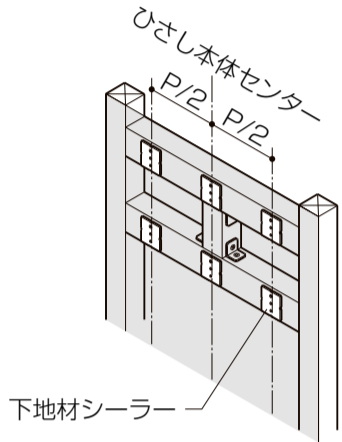


※〈 〉内はひさしD900のときの寸法を示す。  
※[ ]内はひさしD684のときの寸法を示す。

**2 防水シートの張付け、墨出し**



**3 下地材シーラーの張付け、下地材の穴あけ**



**2 防水シートの張付け、墨出し**

- ①防水シートを躯体全面に張付けします。
- ②下表にしたがい、ブラケット・ひさし本体取付け位置に墨出しをしてください。

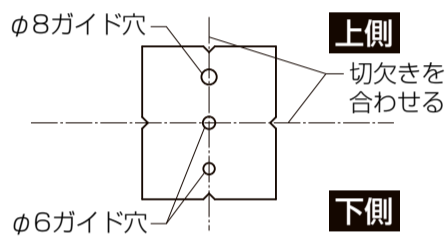
**▲ 注意**

- 先付けボルト・貫通ボルトの取付け前に必ず防水シート・下地材シーラーを張付けてください。漏水のおそれがあります。

**3 下地材シーラーの張付け、下地材の穴あけ**

- ①墨出しした線に下地材シーラーの切欠きを合わせて、φ8ガイド穴を上側にして精度よく張付けてください。【図1】  
 ※ひさしWの規格寸法：W2500、W3000、特注寸法：2200<W≤3000の場合、ひさし本体センターの位置にも下地材シーラーを張付けてください。  
 ※下地材シーラーはひさし本体のセンターを基準に左右均等に張付けてください。(上下左右方向の許容誤差±0.5mm)  
 ※〈 〉内はひさしD900のときの寸法を示す。  
 ※[ ]内はひさしD684のときの寸法を示す。

**■下地材シーラー張付け位置【図1】**

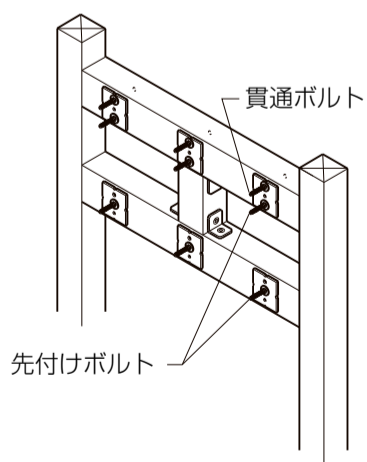


- お願い**
- ※下地材シーラーは精度よく張付けてください。張付け位置の精度が悪い場合はブラケット・ひさし本体の取付けができなくなるおそれがあります。

- ②下地材シーラーのガイド穴に合わせて、ブラケット用下地材は、上のガイド穴にφ9(貫通穴)のドリルで貫通ボルト取付け穴をあけ、下のガイド穴にφ6(深さ90mmの下穴)のドリルで先付けボルト取付け穴をあけてください。ひさし本体用下地材は、真ん中のガイド穴にφ6(深さ90mmの下穴)のドリルで先付けボルト取付け穴をあけてください。【図2】

- お願い**
- ※貫通ボルト・先付けボルト取付け穴は下地材と垂直にあけてください。穴が傾くと貫通ボルト・先付けボルトが傾き、ブラケット・ひさし本体の取付けができなくなるおそれがあります。

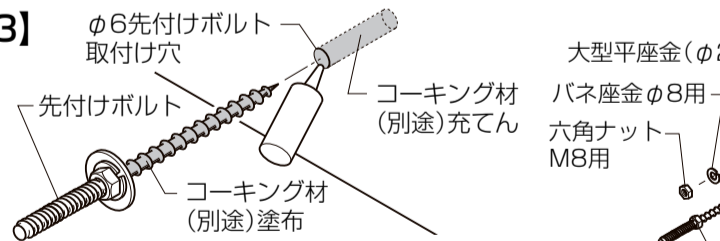
**4 先付けボルト・貫通ボルトの取付け**



**4 先付けボルト・貫通ボルトの取付け**

- ①3であけたφ6先付けボルト取付け穴にコーキング材を充てんし、バネ座金φ8用、大型平座金(φ26)を入れて先付けボルトを取付けてください。【図3】

【図3】

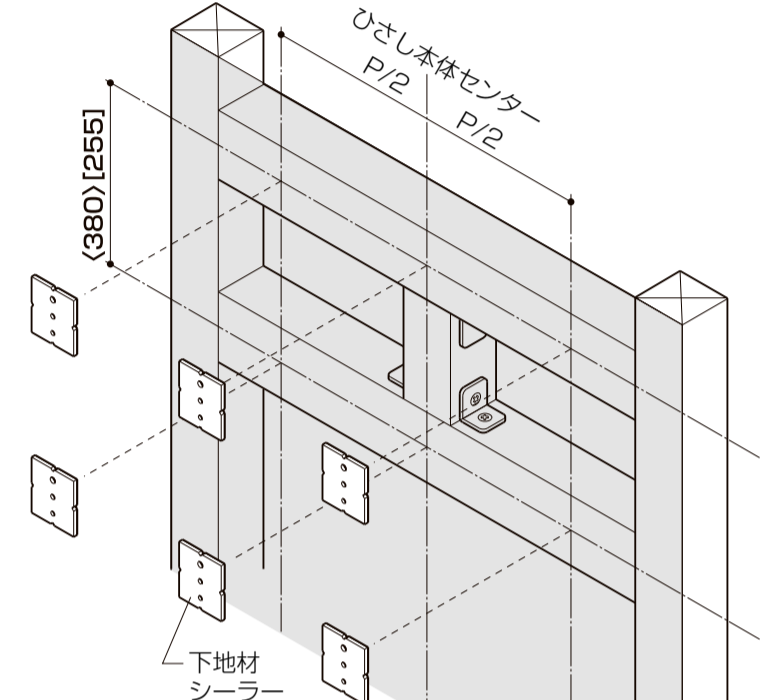


**▲ 注意**

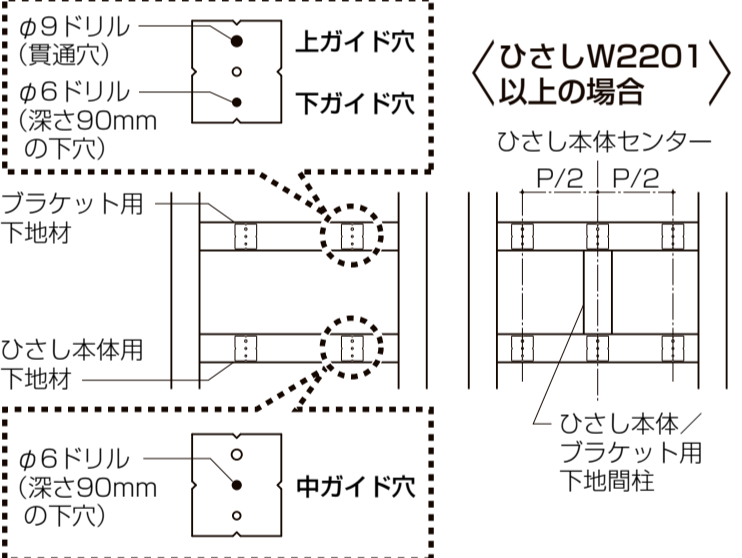
- 下地材へのねじ込み深さは75mm以上を確保してください。ひさし本体の外れ落下のおそれがあります。【図4】
- 先付けボルトは、下地材の割れを防止するため、下穴(φ6)をあけてから取付けてください。【図3】

- ▲ 注意**
- シーリング(コーキング材)は、塗布箇所を十分に清掃しプライマーを塗布してから、指定箇所すべてに対して必ず行ってください。漏水の原因となります。【図3】【図6】

	ひさしW	P/2寸法
規格寸法	1080	340
	1400	400
	1830	515
	2000	600
	2500	950
	3000	1100
特注寸法	600 ≤ W ≤ 1360	(W-400)/2
	1360 < W ≤ 1600	(W-600)/2
	1600 < W ≤ 2200	(W-800)/2
	2200 < W ≤ 2500	(W-600)/2
	2500 < W ≤ 3000	(W-800)/2



**■下地材の穴あけ位置【図2】**



※先付けボルトは外壁総厚さ(胴縁含む躯体から外壁表面までの厚さ)に合わせて使い分けてください。

【表1】

②φ9貫通ボルト取付け穴に室内側よりザグリ加工(ザグリ径φ30、ザグリ深さは室外側ボルト長さが先付けボルト長さと同じになるように設定してください。)をしてください。【図4】

大型平座金(φ26)を挟んで室内側より貫通ボルトを差込み室外側から大型平座金(φ26)、パネ座金φ8用を入れ、M8ナットを下地材シーラーが0.5mm以上つぶれるまでしっかりと締付けて取付けしてください。

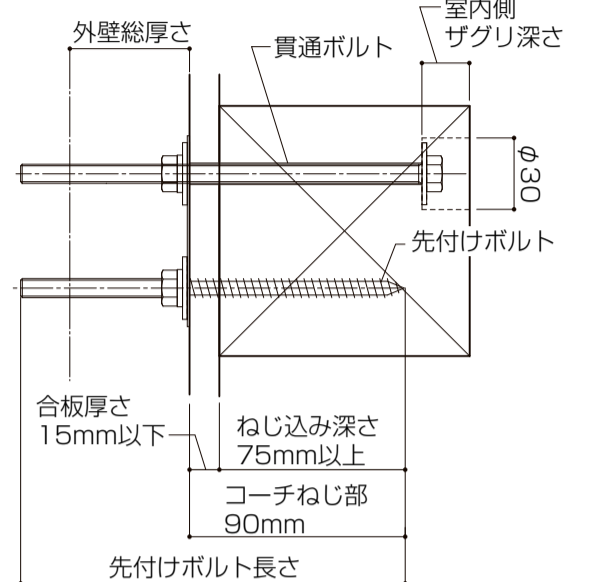
※メガネレンチ、ロングソケットレンチなどで取付けてください。ハンマーなどで打込まないでください。

※ボルトは垂直に取付けてください。(ボルト間の取付け許容誤差±1.5mm)【図5】

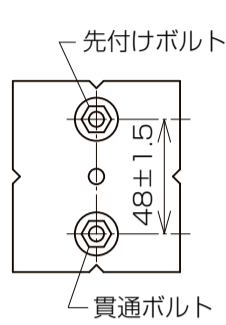
【表1】

外壁総厚さ	先付けボルト長さ
25~32	142
33~41	151
42~50	160

【図4】



【図5】



**注意**

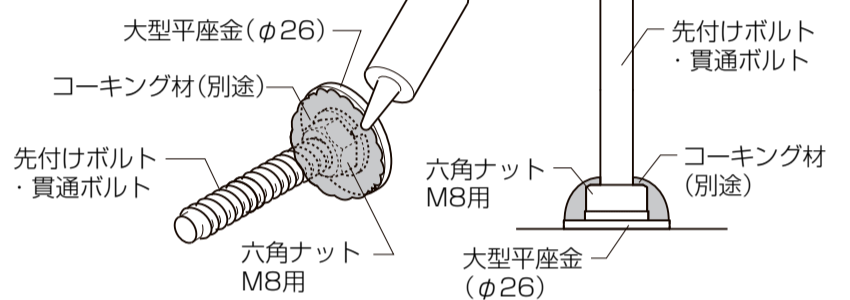
●六角ナットM8用はゆるみがないように十分に締付けてください。ひさし本体の外れ、落下のおそれがあります。

**お願い**

※先付けボルト・貫通ボルトは精度よく取付けてください。精度が悪い場合はブラケット・ひさし本体の取付けができなくなるおそれがあります。

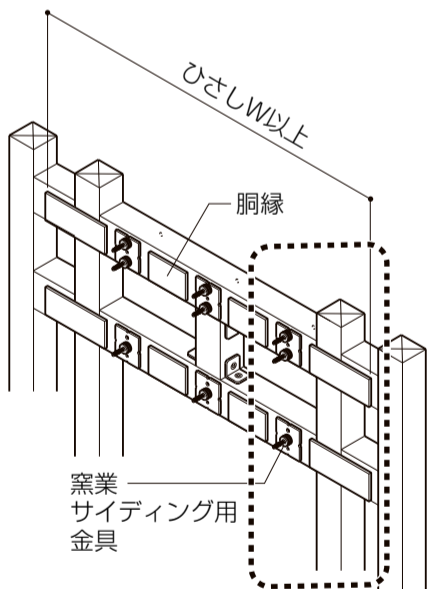
③先付けボルト・貫通ボルトのねじ部と六角ナットM8用との間と、六角ナットM8用と大型平座金(φ26)との間にシーリングしてください。【図6】

【図6】



※金属サイディング又は窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)のある場合、外壁の施工は先付け・貫通ボルトの取付けと同時に、又はシーリングが乾く前に行ってください。シーリングが硬化すると金属サイディング用スペーサーが傾き、ブラケットの取付けができなくなるおそれがあります。

**5 胴縁の取付け・窯業サイディング用金具の取付け**



**5 胴縁の取付け**

**窯業サイディング用金具の取付け(窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)のない場合のみ)**

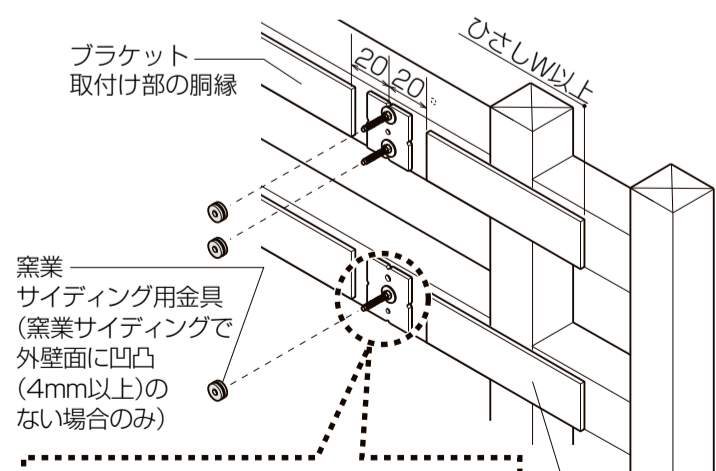
①ひさし本体・ブラケットの取付け位置に、胴縁(幅45mm以上・厚さ15mm以上:別途)をひさしW寸法以上の長さになるように取付けてください。

※横張りの外壁で縦胴縁の場合にも、ひさし本体・ブラケット取付け部へ横に胴縁を取付けてください。

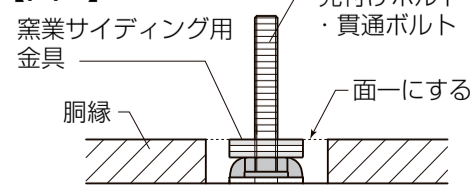
※金属サイディング又は窯業サイディングで壁面に凹凸(4mm以上)がある場合は、ひさし本体取付け部へ胴縁の取付けは不要です。

②胴縁と同じ面になるように、先付けボルト・貫通ボルトに窯業サイディング用金具を取付けてください。(窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)のない場合のみ)【図7】

**■窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)のない場合**

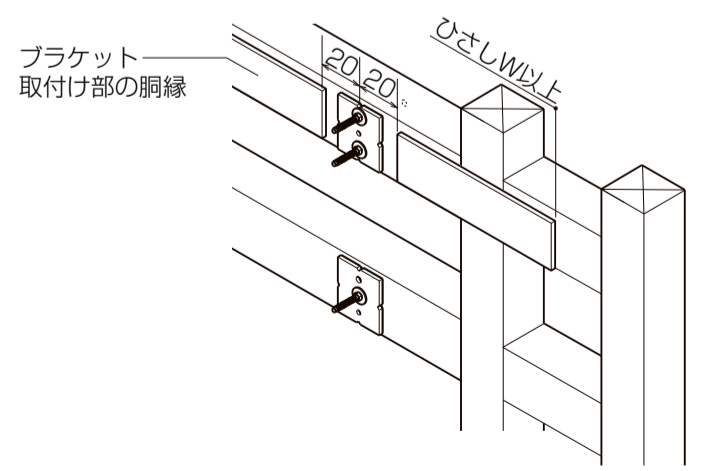


【図7】



ひさし本体取付け部の胴縁(窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)のない場合のみ)

**■金属サイディング又は窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)のある場合**

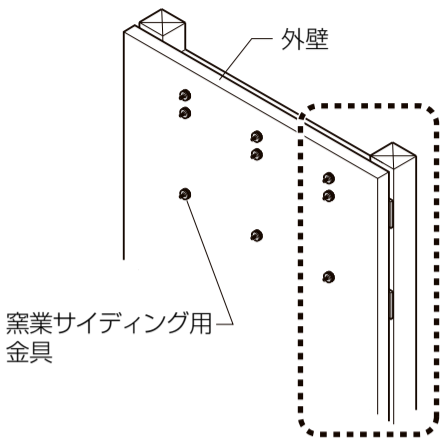


**お願い**

※金属サイディング又は窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)がある場合は、ひさし本体取付け部への胴縁の取付け・窯業サイディング用金具の取付けは不要です。

## 6 外壁仕上げ

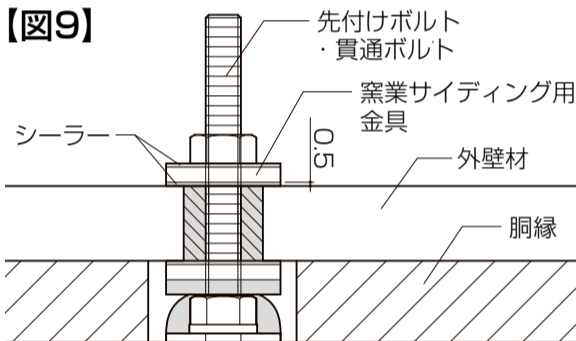
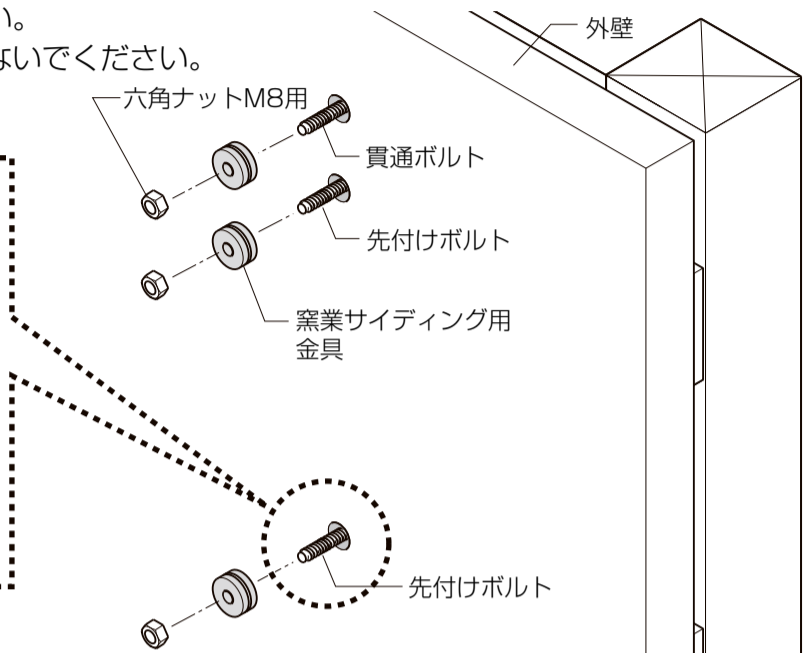
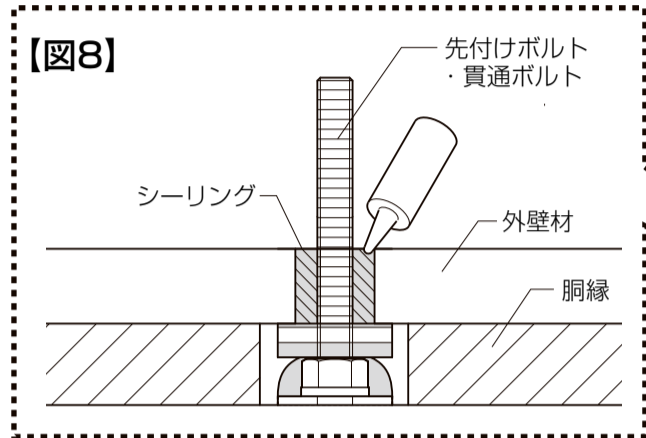
### ■窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)のない場合



## 6 外壁仕上げ

### ■窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)のない場合

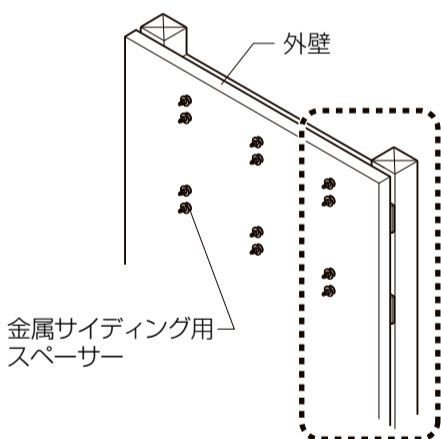
- ①外壁の先付けボルト・貫通ボルト部にφ18の穴をあけてください。
- ②外壁仕上げ後、ボルトとの取合い部にシーリングを行ってください。【図8】  
※シーリングをするときは外壁材に合わせたものをお使いください。
- ③シーリングが乾く前に、窯業サイディング用金具を外壁に当たるまで回してください。  
(窯業サイディング用金具のシーラーが0.5mm程度につぶれるまで回してください。)【図9】
- ④その上から六角ナットM8用を取付けてください。  
※六角ナットM8用はシーリングが乾くまで外さないでください。



**お願い**  
※シーリングが硬化後、取外した六角ナットM8用は、なくさないように保管してください。ブラケット・ひさし本体取付け時に使用します。

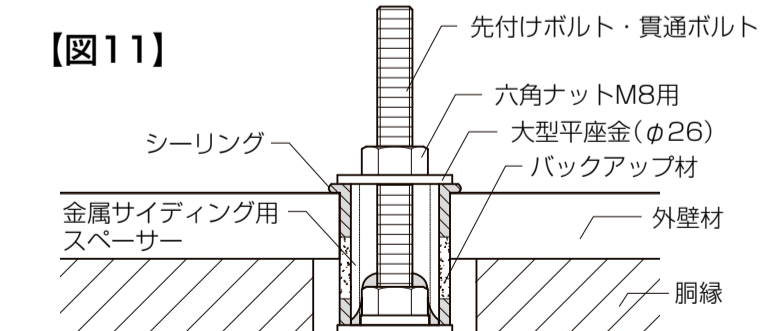
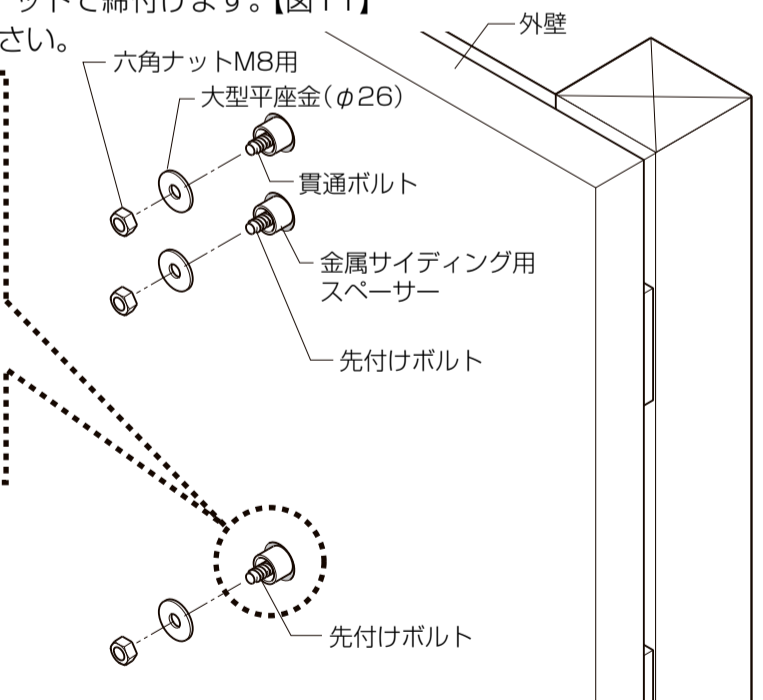
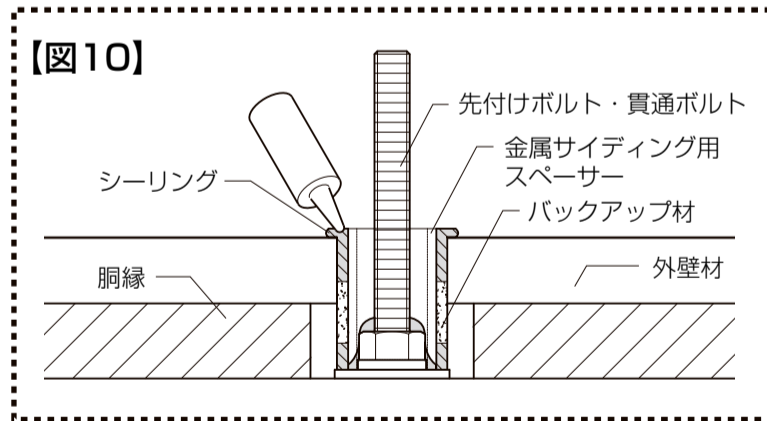
**注意**  
●シーリングは塗布箇所を十分に清掃しプライマーを塗布してから、指定箇所すべてに対し必ず行ってください。漏水の原因となります。

### ■金属サイディング又は窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)のある場合



### ■金属サイディング又は窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)のある場合

- ①外壁の先付けボルト・貫通ボルト部にφ25の穴をあけてください。
- ②金属サイディング用スペーサーを外壁の穴にはめ込んでください。
- ③差込んだ金属サイディング用スペーサーと外壁の間にシーリングを行ってください。【図10】  
※シーリングをするときは外壁材に合わせたものをお使いください。
- ④シーリングが乾く前に大型平座金(φ26)を差込み、六角ナットで締付けます。【図11】  
※六角ナットM8用はシーリングが乾くまで外さないでください。



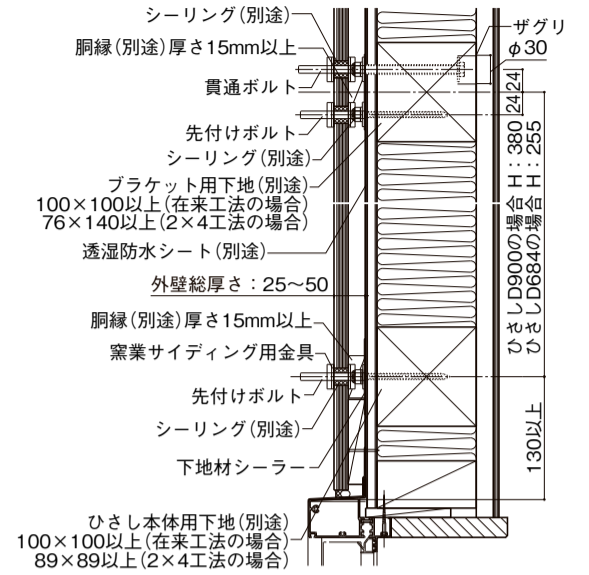
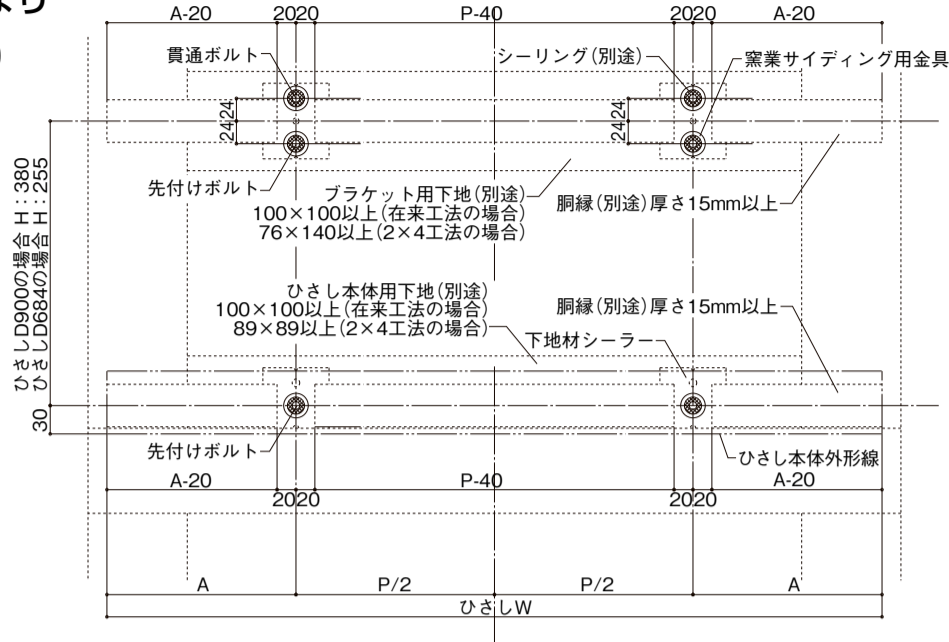
**お願い**  
※シーリングが硬化後、取外した六角ナットM8用は、なくさないように保管してください。ブラケット・ひさし本体取付け時に使用します。

**注意**  
●外壁総厚さ(胴縁含む躯体から外壁表面までの厚さ)は25~50mmとしてください。ただし、金属サイディング、又は窯業サイディングで外壁に凹凸(4mm以上)がある場合には、33mmとしてください。  
●シーリングは塗布箇所を十分に清掃しプライマーを塗布してから、指定箇所すべてに対し必ず行ってください。漏水の原因となります。

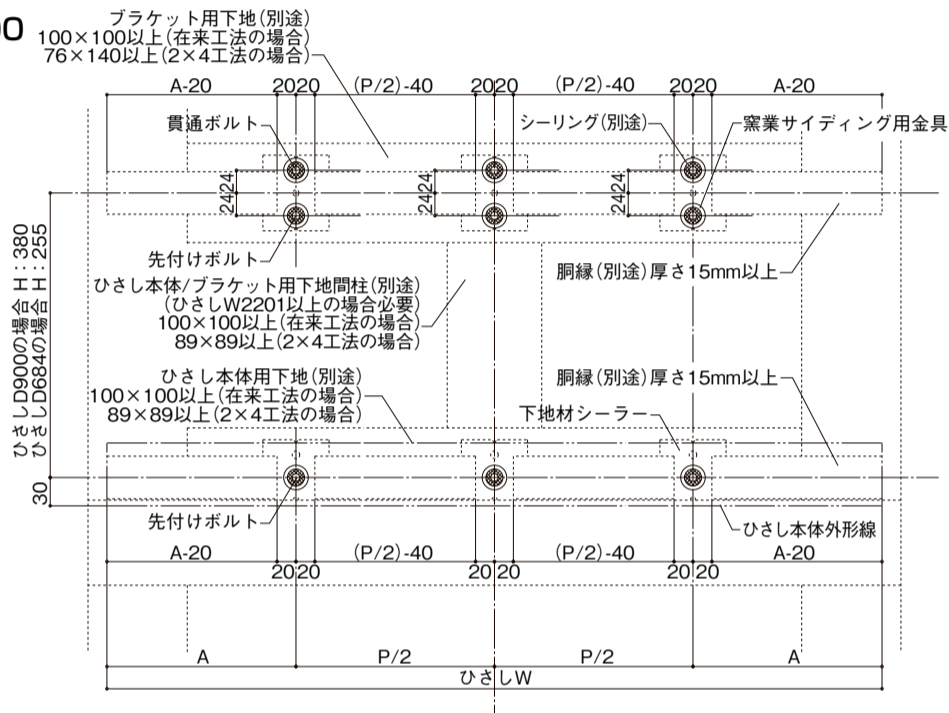
■納まり図

■窯業サイディング納まり

ひさしW600 ≤ W ≤ 2200



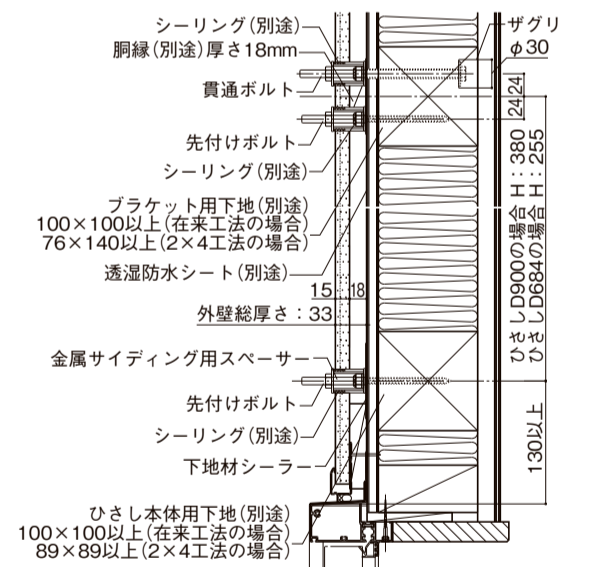
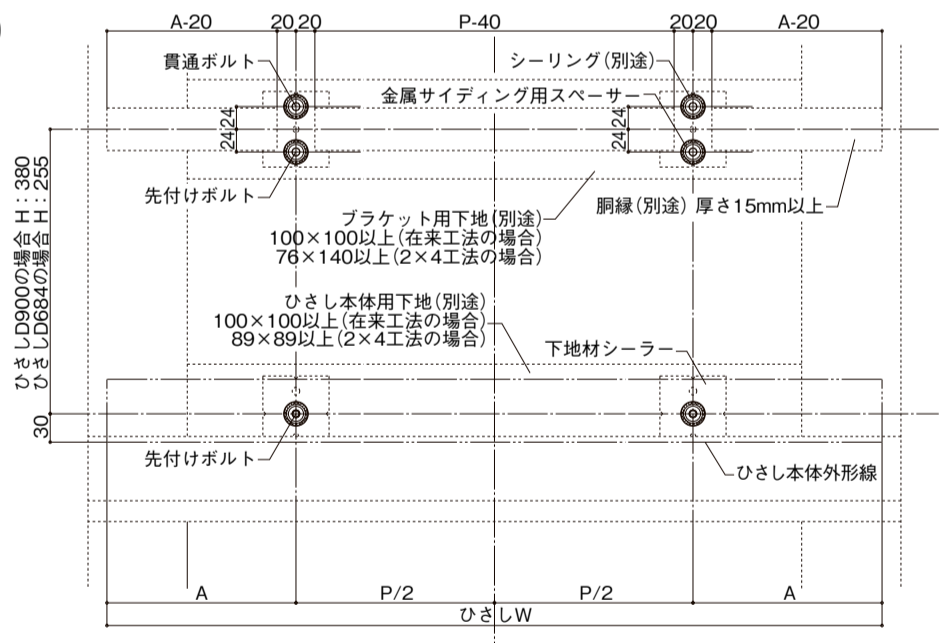
ひさしW2200 < W ≤ 3000



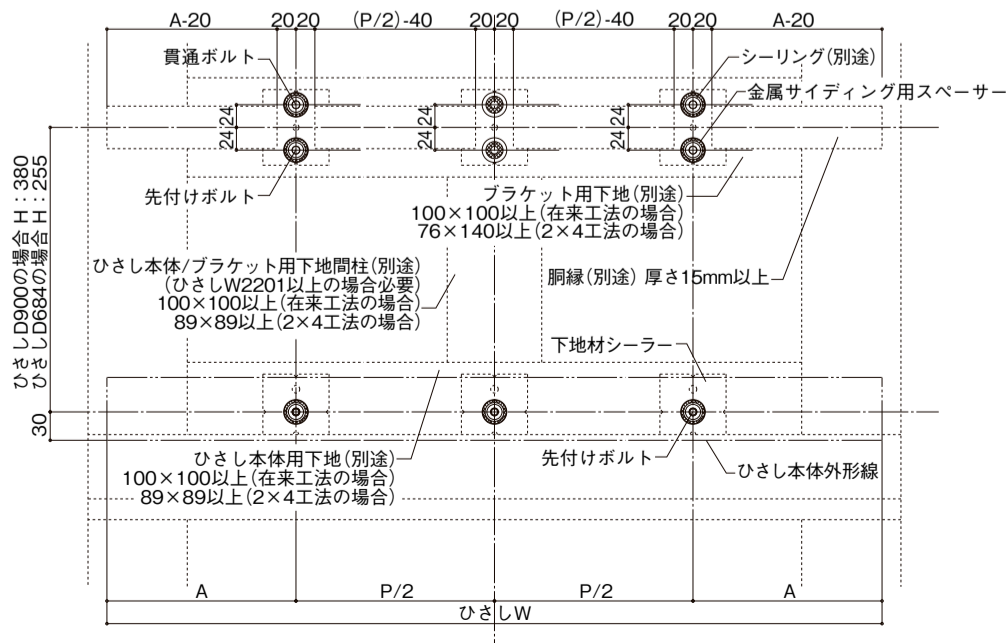
	ひさしW	P/2寸法	A寸法
規格寸法	1080	340	200
	1400	400	300
	1830	515	400
	2000	600	400
	2500	950	300
	3000	1100	400
特注寸法	600 ≤ W ≤ 1360	(W-400)/2	200
	1360 < W ≤ 1600	(W-600)/2	300
	1600 < W ≤ 2200	(W-800)/2	400
	2200 < W ≤ 2500	(W-600)/2	300
	2500 < W ≤ 3000	(W-800)/2	400

■スパンサイディング(金属サイディング)納まり

ひさしW600 ≤ W ≤ 2200



ひさしW2200 < W ≤ 3000



	ひさしW	P/2寸法	A寸法
規格寸法	1080	340	200
	1400	400	300
	1830	515	400
	2000	600	400
	2500	950	300
	3000	1100	400
特注寸法	600 ≤ W ≤ 1360	(W-400)/2	200
	1360 < W ≤ 1600	(W-600)/2	300
	1600 < W ≤ 2200	(W-800)/2	400
	2200 < W ≤ 2500	(W-600)/2	300
	2500 < W ≤ 3000	(W-800)/2	400